HBK の体液内濃度測定法

Ⅱ. 高速液体クロマトグラフ法

小 宫 泉·三 富 奈 由·西 尾 元 宏 明治製菓株式会社·薬理安全性研究所

ラベル試薬として o-phthalaldehyde を用いたポストカラム高速液体クロマトグラフ (HPLC) 法により、血清中(または血漿中)、尿中および胆汁中 HBK 濃度測定法について検討した。

前処理として、CM-Sephadex カラムを用いて HBK を生体成分から分離し、ion-pair を用いた 逆相系クロマトグラフ法で定量した。その際 Dibekacin を内部標準として用いた。本 HPLC 定量 法の精度は、変動係数としてヒト血清中 HBK 濃度測定法の場合 2.7~3.8%、ヒト尿中濃度測定 法の場合1.0~1.7% と良好であった。ヒトに HBK を静脈内投与した時の血清中濃度と尿中濃度 を HPLC 法および Bioassay 法で測定した所、両者は良く相関した。

HBK は広範囲の抗菌スペクトルを持つ、新規アミノ 配糖体抗生物質である。アミノ配糖体抗生物質の高速液 体クロマトグラフ (HPLC) による、血清または血漿中 薬物濃度の測定法は種々報告されている^{1~6)}。 今回著者 らは、J.P. Anhalt の Gentamicin 定量法¹⁾に変更を加 え、ポストラベル HPLC 法による HBK の体液内濃度 測定法を検討したので報告する。

I. 実験材料および方法

1. 使用薬剤および試薬

HBK および Dibekacin (DKB) は明治製菓株式会社 で合成されたものを用いた。その他の試薬は市販特級品を用いた。

2. 前処理

ヒトの血清または尿試料 $0.4\,\mathrm{ml}$ に内部標準として DKB の M/15-phosphate buffer (pH 8.0) 溶液 (血清 の 場合は $5\,\mu\mathrm{g/ml}$, 尿の 場合は $50\,\mu\mathrm{g/ml}$) $0.4\,\mathrm{ml}$ を 加え、よく撹はんした後、そのうちの $0.6\,\mathrm{ml}$ を bed volume $1\,\mathrm{ml}$ の CM-Sephadex (C-25) カラムにかけた。

その後、カラムを $0.2\,\mathrm{M}$ Na₂SO₄ $2\,\mathrm{ml}$ で洗浄し、さら に $0.01\,\mathrm{N}$ NaOH を含む $0.2\,\mathrm{M}$ Na₂SO₄ $0.5\,\mathrm{ml}$ で洗浄後、同液 $2.5\,\mathrm{ml}$ で溶出した。溶出液に $1\,\mathrm{N}$ HCl $0.025\,\mathrm{ml}$ を加えた後、蒸発乾固し、残渣を $0.4\,\mathrm{ml}$ の蒸留水に とかし、その $10\,\mathrm{\mu l}$ を HPLC に注入した。

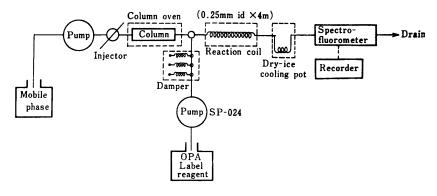
ラットの血漿または尿試料は、それぞれの0.15 ml を用い、内部標準溶液 (DKB 溶液) で2 倍に稀釈した後にほぼヒトの試料と同様に処理した。一方ラットの胆汁は、胆汁成分をとり除くため、試料をのせた CM-Sephadex カラムを 0.2 M Na₂SO₄ 2 ml で洗浄し、さらに 1% メタノールを含む 0.2 M Na₂SO₄ 1 ml で洗浄し、その後は、ヒトの試料と同様に処理した。

なお、CM-Sephadex は、0.2 M Na₂SO₄ 春液中で影 潤させ、小型のガラスカラムに充填して用いた。

3. 测定方法

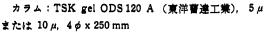
Fig.1 にポストラベル法による HBK 定量の概略を示した。HPLC は Tri Rotar SR 2 (日本分光), 反応槽は 4m のステンレスチューブコイルを内蔵 した ASB-200

Fig. 1 Flow diagram of the HPLC system



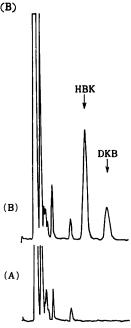
(80℃ に設定、日本分光)を用いた。なお蛍光感度を増 大させるため、反応槽を通過したのち、通過液をドライ アイス上で冷却した。また、HPLC 測定条件は以下の通 りであった。

Fig. 2 Chromatograms of control human serum (A) and serum containing $10 \mu g/ml$ of HBK (B)



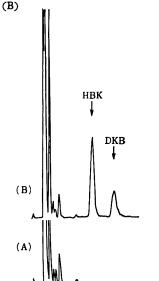
プレカラム: TSK gel ODS 120 A, 5μ または 10 μ, 4 ø x 50 mm

Fig. 3 Chromatograms of control human urine (A) and urine containing $100 \mu g/ml$ of HBK (B)

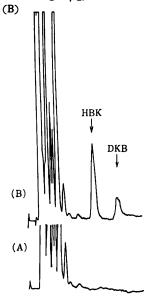


HBK DKB (B) (A)

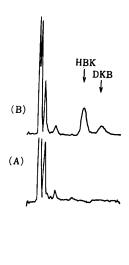
Fig. 4 Chromatograms of control Fig. 5 rat plasma (A) and plasma containing 20 µg/ml of HBK



rat urine (A) and urine containing 20 µg/ml of HBK



Chromatograms of control Fig. 6 Chromatograms of control rat bile (A) and bile containing $10 \,\mu\text{g/m}l$ of HBK(B)



移動相:11 中に Na₂SO₄ 28.41 g, PIC reagent B-7 (Waters Associates) 25 ml および pH 10,00 Titrisol buffer (E. Merck) 20 ml を含む水溶液

移動相流速:1 ml/min

ラベル (o-phthalaldehyde, OPA) 試薬: 11 中に Fluescin (E, Merck) 20 ml, 2-mercaptoethanol 4 ml および pH 10.00 Titrisol buffer 200 ml を含む水溶液 ラベル試液流速:1 ml/min

検出器: FP-110 Spectrofluorometer (日本分光), Hg ランプ、Ex:350 nm, Em:440 nm

レコーダー: C-R1B Chromatopac (島津製作所) なお、HBK の濃度はすべて力価換算して表示した。

II. 結

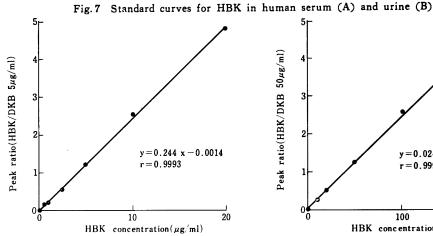
ヒト血清または尿中の HBK, および DKB (内部標 準) の HPLC チャートを Fig. 2 および 3 に示した。同 様にラット血漿, 尿および 胆汁のチャートを Fig. 4~6 に示した。いずれの場合も、生体成分の妨害は少なく、 安定して定量されることが示された。ヒト血清または尿 中の HBK の検量線を Fig.7 に, ラット血漿, 尿および 胆汁中の検量線を Fig.8 に示した。いずれも原点を通 る良好な直線を示した。

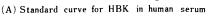
本測定法による精度を検討するため、ヒト血清中また は尿中に一定量の HBK を溶解した後、前述の方法によ り、HBK 濃度の測定を4回くり返して実施した。その 結果を Table 1 に示した。 いずれの場合もかたよりは小 さく,また変動係数も,血清の場合 2.7~3.8%,尿の場 合 1.0~1.7% と良好であった。

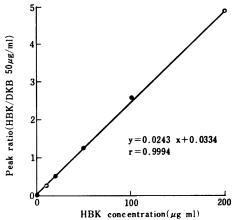
健康成人に HBK を点滴静注した際ⁿの血清中および 尿中の HBK 濃度を一部測定し、前報®に示した Bioassay 法の結果と比較した (Fig. 9)。血清中濃度の場合 には、切片は0に近く、また傾きはほぼ1を示し、両測 定値はほぼ 1:1 の対応を示した。また、尿中濃度の場 合にも,傾きが 0.83 と若干1を下回るものの,両測定 値間の相関は良好であった。

III. 考

ヒトまたはラットの血清(または血漿)中 HBK 濃度

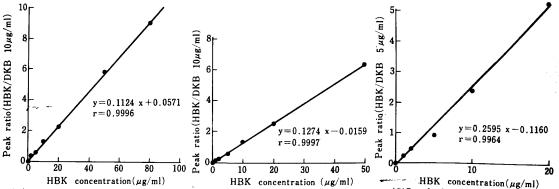






(B) Standard curve for HBK in human urine

Fig. 8 Standard curves for HBK in rat plasma (A), urine (B), and bile (C)



(A)Standard curve for HBK in rat plasma (B)Standard curve for HBK in rat urine (C)Standard curve for HBK in rat bile

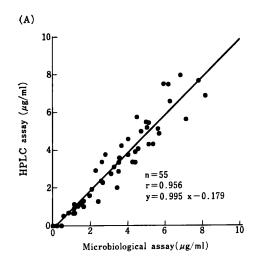
Table 1 Coefficient of variation (c.v.) for HPLC determination of HBK in human serum (A) and urine (B)

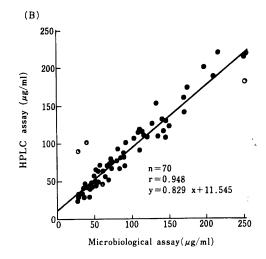
(B)

(A)	•	
HBK conc	HBK conen. (µg/ml)	
added	found	c. v. (%)
4	3.81 3.87 3.65 4.00	3.8
mean±S.D.	3.83±0.15	
8	8.00 7.87 7.82 8.30	2.7
mean ± S.D.	8.00±0.22	

HBK conen. (µg/ml)		(0/)
added	found	c. v. (%)
75	75.4 72.5 73.1 74.0	1.7
mean ± S.D.	73.8±1.3	
150	147.2 148.1 150.5 149.8	1.0
mean ± S.D.	148.9±1.5	' [

Fig. 9 Correlation of the HPLC assay of HBK in human serum (A) and in human urine (B) with the microbiological assay





および尿中 HBK 濃度は DKB を内部標準として、J.P. Anhalt の Gentamicin の HPLC 測定法"を一部改良した方法で精度良く測定されることが明らかとなった。しかし、ラット胆汁中の 濃度は上記の血清または 尿中HBK 濃度測定時と同様の前処理方法では、 胆汁中成分が混入し、良好なクロマトグラムが得られなかった。そこで、試料をのせた CM-Sephadex を洗浄する際、血清(または尿)の前処理方法に加え、1% メタノールを含む $0.2\,\mathrm{M}\,\mathrm{Na}_2\mathrm{SO}_4\,\mathrm{1}\,\mathrm{ml}$ で洗浄することにより、この妨害成分を除去した。

本測定方法の検出感度は、血清中濃度の場合、約 0.5 μ g/ml, 尿中、胆汁中濃度の場合、約 1.0 μ g/ml であった。また精度は、変動係数で 1.0 $\sim 3.8\%$ (Table 1) であり体液内濃度測定法として、本法は比較的簡便で有用な方法であることが示された。

なお、ヒト血清中および尿中濃度の Bioassay 法との 比較においても相関係数がそれぞれ 0.956 (n=55) お よび 0.948 (n=70) (Fig. 9) であり、良好な相関性を示 した。

文 款

- ANHALT, J. P.; Assay of gentamicin in serum by high-pressure liquid chromatography. Antimicrob. Agents & Chemother. 11:651~ 655, 1977
- MAITRA, S. K.; T. T. YOSHIKAWA, J. L. HANSEN, I. NILSSON-EHLE, W. J. PALIN, M. C. SCHOTZ & L. B. GUZE: Serum gentamicin assay by highperformance liquid chromatography. Clin. Chem. 23: 2275~2278, 1977
- PENG, G. W.; G. G. JACKSON & W. L. CHIOU: High-pressure liquid chromatographic assay of netilmicin in plasma. Antimicrob. Agents & Chemother. 12:707~709, 1977
- MAITRA, S. K.; T. T. YOSHIKAWA, C. M. STEYN, L. B. GUZE & M. C. SCHOTZ: Amikacin assay in serum by high-performance liquid chroma-

- tography. Antimicrob. Agents & Chemother. 14:880~885, 1978
- BARENDS, D. M.; J. S. F. VAN DER SANDT & A. HULSHOFF: Microdetermination of gentamicin in serum by high-performance liquid chromatography with ultraviolet detection. J. Chromatography 182: 201~210, 1980
- 6) BARENDS, D. M.; C. L. ZWAAN & A. HULSHOFF: Improved microdetermination of gentamicin and sisomicin in serum by high-performance liquid chromatography with ultraviolet detection. J. Chromatography 222: 316~323, 1981
- 7) HBK phase I Chemotherapy に投稿準備中
- 8) 新開祥彦, 石渡信由, 藤田正教: HBK の体液内 濃度測定法, I. 微生物学的定量法。Chemotherapy

ASSAY METHOD OF HBK IN BIOLOGICAL BODY FLUIDS II. HIGH-PERFORMANCE LIQUID CHROMATOGRAPHIC ASSAY METHOD

IZUMI KOMIYA, NAYU MITOMI and MOTOHIRO NISHIO
Pharmacology & Toxicology Laboratories, Meiji Seika Kaisha, Ltd.

A procedure for the high-performance liquid chromatographic (HPLC) determination of HBK in serum (or plasma) urine, and bile is described using post-column derivatization with o-phthalaldehyde. The technique involves extraction of HBK from biological samples by using a CM-Sephadex column and analysis by reverse-phase, ion-pair chromatography. Dibekacin is used as an internal standard. The accuracy of this HPLC assay is 2.7-3.8% in human serum and 1.0-1.7% in human urine. The HPLC assay of HBK in human serum and human urine correlates well with the microbiological assay.